

12月でロチェスター工科大学の冬学期の授業が終わり、冬休みの期間に入りました。12月の初週から期末試験が始まりました。試験といっても、プレゼンテーションやディベート等慣れない形式で行われるものが多く、苦戦しました。特に、冬学期最終週では、2日に1つペースでプレゼンテーションがあり、準備、練習時間をやりくりするのが大変でした。そこで、寮のルームメイトに練習相手になってもらい、乗り越えることができました。

プレゼンテーションの内容は、男性が積極的に育児に関わること、論理的ではない文章の識別、モダリティの使用法、自国の文化について、ファストフードの健康への影響について、アメリカの大学に、その学費に見合う価値があるかについて、と多岐に渡りました。最後の内容の学費については、ディベートでの議題になっていて、私は、そのコストに見合う価値がある側の立場で討論しました。

発表の質疑応答で最初の内は、スムーズにいかなかったものもありましたが、ディベートをする頃には、力がついたように思います。ただ、残念なことに、調査のクラスで、途中でチームのメンバーが欠け、上手く終わらせることができなかったプロジェクトがありました。冬学期の終わり際は、本当に慌ただしいスケジュールでしたが、仲間や機会に恵まれ、良い経験ができました。

学期が終わるとしばらくして、大学がクリスマスからインターセッションが始まるまでの約1週間、閉まりました。学内の食堂も閉まるため、事前に購入した食料でやりくりしたのですが、結構ギリギリでした。今にして思えば、もう少し備蓄しておけば苦労せずにすんだのではないかと思います。休みの間は、当然ですが学内を歩いている人や寮に残っている人がほとんどおらず、誰かの助けを借りるとするのが難しくなります。休暇中に、旅行するので、タクシーを呼ぼうと思いましたが、現地で携帯を買わなかったので公衆電話を探しました。しかし、全然見つからず本当に苦労しました。

旅行はトロントへ行きました。カナダへ行くのは日本人だとビザが要らないので、比較的簡単にできます。そこで、この期間に、夏に機会があったのですが行くことのできなかつたナイアガラの滝を見に行きました。テレビで何と無しに、耳に入ってくる、見たことのある場所ですが、行って初めて分かることがとても多く、感激しました。一番驚いたのは、ナイアガラの滝が2つあることでした。アメリカ側とカナダ側があるとは聞いていたのですが、それは国境がアメリカ-カナダ間にあれば当然の事だと思っていました。その景観は素晴らしく、滝から落ちた水飛沫が滝の倍以上に昇り、それが朝の陽射しに照らされて輝いていました。

行きたい所がまだあるので、休みの間に、そこに行きたいと思います。

以上